MASPRO

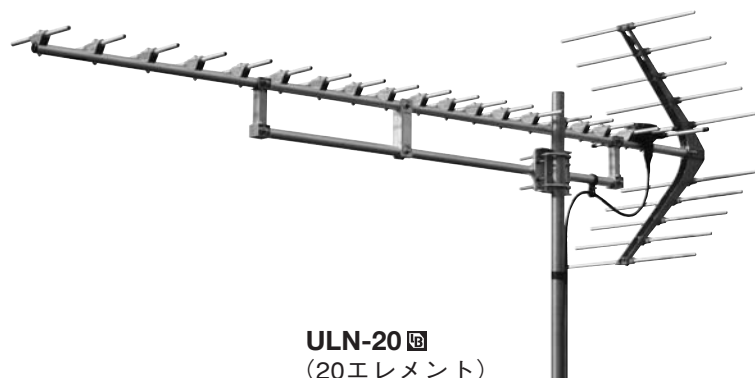
BL型　共同受信用　UHFアンテナ

UHF ANTENNAS
UHF ch.13〜34

ULN-20
ULN-20S
ステンレス製

優良住宅部品
テレビ共同受信機器

取扱説明書
施工説明書

水平・垂直偏波用
75Ω（F型コネクター）

ULN-20
（20エレメント）

ULN-20S
（20エレメント ステンレス製）

MASter of PROduction 生産の覇者

目次

ページ

- 正しく安全にお使いいただくため，ご使用の前に，この「取扱説明書・施工説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書・施工説明書」は，いつでも見ることができる場所に保管してください。

BL部品とは

- （財）ベターリビングが優良住宅部品認定制度によって，品質，性能，アフターサービスなどに優れた住宅部品を厳重な審査に基づき認定した住宅部品です。さらに保証責任保険と賠償責任保険が制度化されていますから，安心してご利用できます。
- 当社の定める施工説明を逸脱しない据付工事に不具合（瑕疵）が生じ，施工者が無償修理や損害賠償を行なった場合，BLマーク証紙の貼付（または刻印など）がされている部品については，同財団のBL保険制度に基づき保険金が支給されます。
- BLマーク証紙の貼付（または刻印など）がされている部品については，万一，当社または設置工事施工者による瑕疵保証責任などが行えない場合，これに代わる措置が同財団から受けられます。
- BL保険制度については，（財）ベターリビングのホームページ（http://www.cbl.or.jp/）をご覧ください。
なお，BL保険制度に関する質問は，（財）ベターリビング（TEL 03-5211-0680）でもお受けいたします。

安全上のご注意　ご使用の前に，この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この「安全上のご注意」には，製品を安全に正しくご使用いただき，ご使用になる方や他の人への危害，財産への損害を未然に防止するために，いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。

警告	この表示を無視して，誤った取扱いをすると，人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して，誤った取扱いをすると，人が傷害を負う可能性が想定される内容，および，物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△記号は，注意(警告を含む)が必要な内容があることを示しています。		⃠記号は，禁止の行為を示しています。		●記号は，行為を強制したり，指示したりする内容を示しています。

⚠ 警告

●雷が鳴出したら，アンテナやケーブルには触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

●施工は，専門業者にご依頼ください。また，1年に一度は専門業者に保守･点検をご依頼ください。

●アンテナやアンテナ部品の落下などによって，人や物などに危害や損害を与えることがないように，安全な場所を選んで設置してください。

●感電防止のため，アンテナは電線(電灯線・高圧線・電話線など)からできるだけ離れた（万一，倒れても電線に触れない）場所に設置してください。

●雨降りや強風など，天候の悪い日の取付作業は非常に危険ですから，絶対にしないでください。

●アンテナの取付工事を行うときは，落下防止のため，ネットを張ったり，アンテナや取付金具･工具などをヒモで固定物に結ぶなど，安全対策をしてから作業してください。

●高所での作業は非常に危険です。万全の安全対策をして取付けてください。また，足場も不安定です。滑らないように，充分気をつけて作業してください。

●アンテナの取付けや支線張りなどの作業は，安全確保のため，必ず2人以上で行なってください。

●アンテナ･取付金具･マストなどに異常があったり，ビスやボルト･ナットなどがゆるんだりしていないか，定期的に点検してください。また，台風や大雪などの後は必ず点検してください。アンテナが破損・変形した場合，新しいものと交換してください。そのままにしておくと，アンテナや取付金具などの部品が，破損・落下して，けがや建造物に損害を与える原因となることがあります。

●腐食が進んで劣化したアンテナや取付金具をそのまま使用しないでください。落下して，人や物などに危害や損害を与える原因となることがあります。アンテナや取付金具は，定期的に点検してください。

取扱説明書

特長

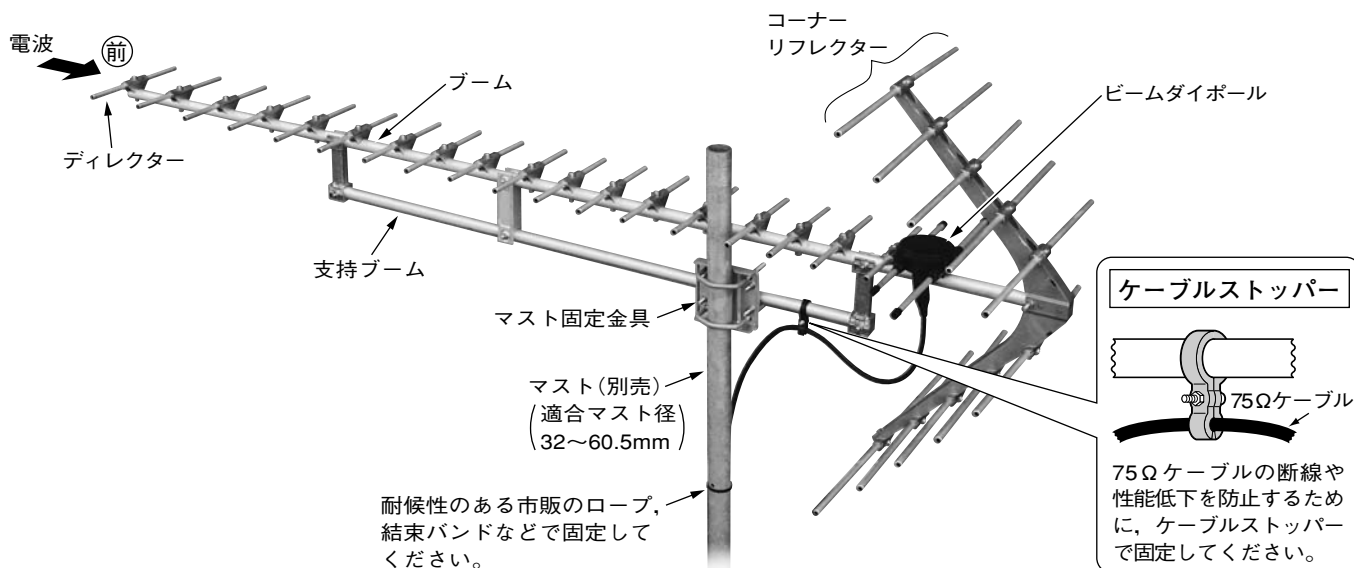
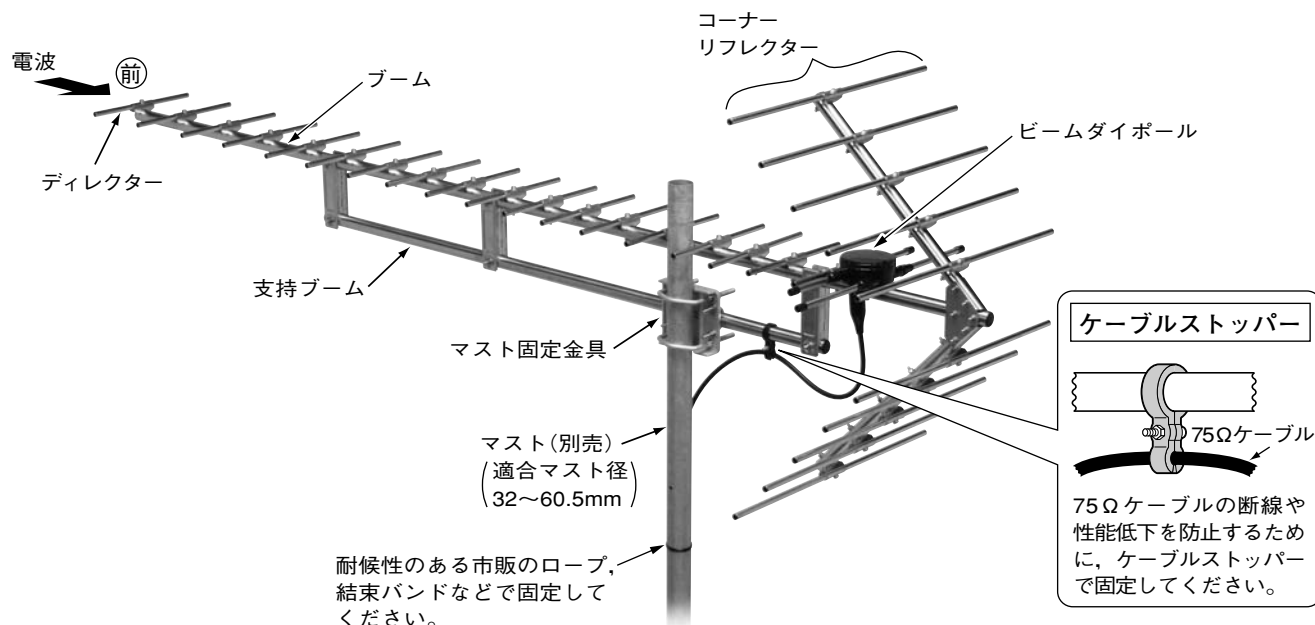
高性能

ディレクターの長さや位置の最適化と，大型のコーナーリフレクターの採用によって，優良住宅部品認定基準の低域用UHFアンテナに適合していますから，CATV施設や共同受信施設の受信用アンテナとして使用できます。

抜群の耐久力 （ULN-20S）

塩害や化学公害に強い材質と，雪害や鳥害にも強い構造ですから，耐久力は抜群です。

各部の名称

ULN-20

ULN-20S

規格表・付属品

規格表

項目	規格
型式	**ULN-20** **ULN-20S**
素子数	20
チャンネル	ch.13〜34
周波数	470〜602MHz
動作利得	9.0dB以上
電圧定在波比	2.5以下
半値幅	50度以下
前後比	15dB以上
インピーダンス	75Ω（F型コネクター）
受信偏波	水平・垂直偏波
受風面積	0.19m^2
耐風速	45m／s
適合マスト径	32〜60.5mm（50A）
外観寸法	**ULN-20**　：1845（L）×450（W）×590（H）mm **ULN-20S**：1845（L）×450（W）×580（H）mm
質量（重量）	**ULN-20**　：約3.6kg **ULN-20S**：約4.8kg

BL規格表示による

部品規格

Model	エレメント	エレメントホルダー	ブーム	支持ブーム	ビス・ボルト・金具	マスト固定金具
ULN-20	耐食アルミニウム φ9.5×t 0.8mm	アルミニウムダイカスト	耐食アルミニウム φ22.2×t 1mm	耐食アルミニウム φ22.2×t 2mm	ステンレス アルミダイカスト 軟鋼線材 （溶融亜鉛・すず合金メッキ）	鋼板 （溶融亜鉛・すず合金メッキ） 適合マスト径 32〜60.5mm（50A）
ULN-20S	ステンレス φ9.5×t 0.5mm	ステンレス	ステンレス φ22×t 1mm	ステンレス φ22×t 1mm	ステンレス 軟鋼線材 （溶融亜鉛・すず合金メッキ）	

付属品（全機種共通）

防水キャップ…………………………1個

組立方法 ULN-20

すべてのビスとボルトを指定のトルクで締付けてください。

水平偏波を受信する場合

水平偏波を受信する場合，ビームダイポールのケーブルの取出し口が下向きになるように取付けてください。(垂直偏波を受信する場合，p.6を参照してください)

施工説明書

垂直偏波を受信する場合

施工説明書

組立方法　ULN-20S

すべてのビスとボルトを指定のトルクで締付けてください。

水平偏波を受信する場合

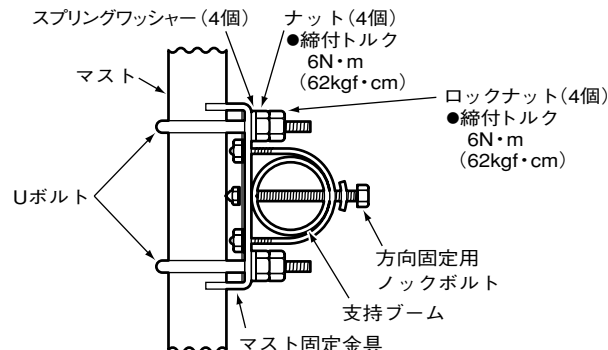
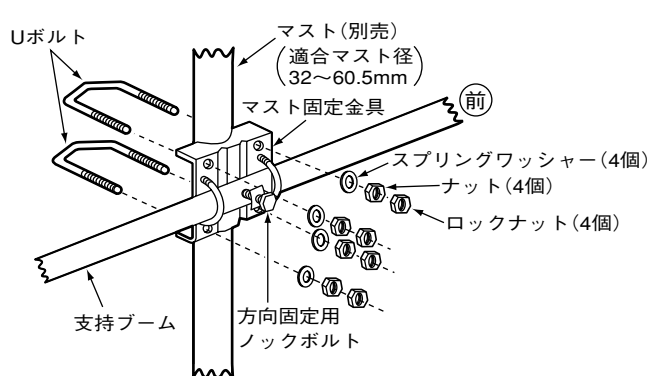
水平偏波を受信する場合，ビームダイポールのケーブルの取出し口が下向きになるように取付けてください。（垂直偏波を受信する場合，p.8を参照してください）

施工説明書

垂直偏波を受信する場合

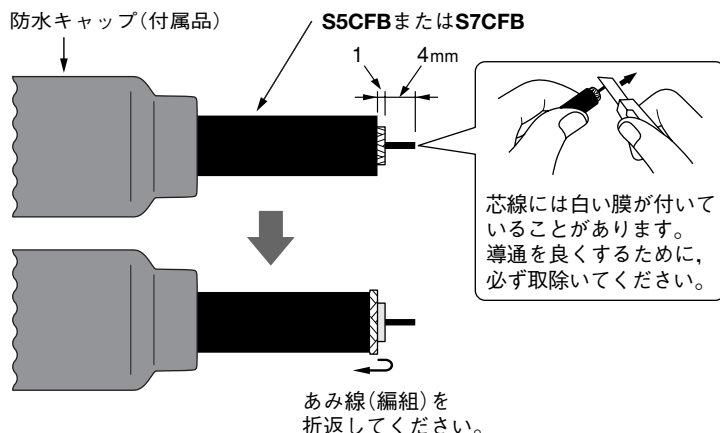
施工説明書

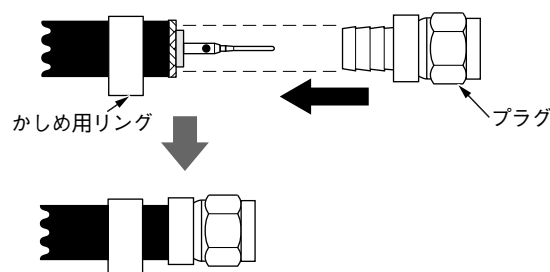
マストへの取付方法

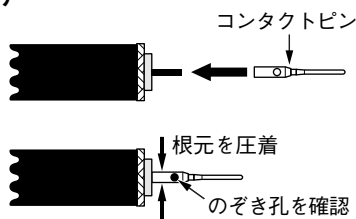
① アンテナの方向を変えることができる程度に，Uボルトのナットを仮締めしてください。
② 方向固定用ノックボルトの先端が，わずかにマストに当たる位置までノックボルトを締めてください。
③ アンテナの方向調整後，ナット，ロックナットの順に，指定のトルクで均等に締付けてください。
④ 各ナットを締付けたあと，アンテナが回転しないように，方向固定用ノックボルトを強く締付けてください。

F型コネクター（C15FP5，C15FP7）の取付方法

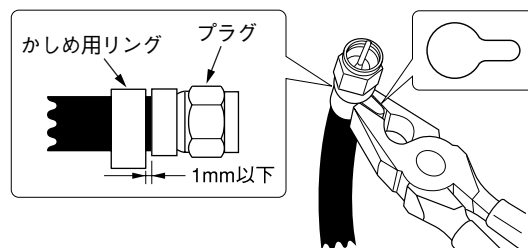
F型コネクター（**C15FP5**，**C15FP7**）は別売です。

- 接触不良やショートを防ぐため，プラグはていねいに取付けてください。
- ケーブルを加工する前に，付属の防水キャップにケーブルを通してください。
- 7Cケーブルを使用するときは，防水キャップをケーブルの太さに合わせて切ってください。

① ケーブルの加工（加工寸法は原寸大です）

③ プラグの取付け

75Ωケーブルにかしめ用リングを通してから，
プラグを強く押し込んでください。

② コンタクトピンの取付け

1. コンタクトピンを芯線にはめてください。
2. のぞき孔から芯線が見えることを確認してから，市販の専用圧着工具でコンタクトピンの根元を圧着してください。
3. コンタクトピンを前後に動かして，しっかり圧着されていることを確認してください。

④ かしめ用リングをペンチで圧着

プラグとかしめ用リングの隙間を1mm以下にして，
かしめ用リングをペンチで圧着します。

コンタクトピンの圧着について

コンタクトピンが，圧着できなかったり，折れたりしないように，以下の点に注意してください。

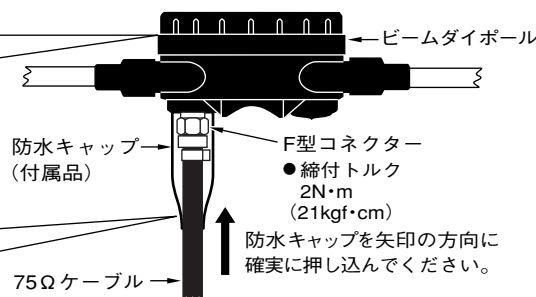
- F型コネクター専用の圧着工具で圧着してください。
- コンタクトピンの根元の外径に適合する圧着工具のコンタクトピン圧着部で圧着してください。

コンタクトピンの根元の外径
C15FP5：2mm　**C15FP7**：2.6mm

施工説明書

ビームダイポールへの接続方法

① F型コネクターをビームダイポールに接続して，指定のトルクで締付けてください。

② 防水キャップを矢印の方向へ確実に押し込んでください。

保証について

無償修理規定

保証期間内に取扱説明書・施工説明書記載事項にしたがった正常な使用状態で故障した場合，当社支店・営業所までお申付けください。
この製品の保証期間は，お引渡しの日から3年間です。

保証期間内でも下記の場合，有償修理となります。

① 住宅，事務所，学校，病院，ホテルまたは旅館以外で使用したときの不具合。
② ユーザーが適切な使用，維持管理を行わなかったことに起因する不具合。
③ メーカーが定める施工説明書などに基づかない施工，専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合。
④ 建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合，塗装の色あせなどの経年変化，または，使用に伴う磨耗などにより生じる外観上の現象。
⑤ 海岸付近，温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。
⑥ ねずみ，昆虫などの動物の行為に起因する不具合。
⑦ 火災・爆発事故・落雷・地震・噴火・洪水・津波などの天変地異，または，戦争・暴動などの破壊行為による不具合。
⑧ 消耗部品の消耗に起因する不具合。
⑨ 電気の供給トラブルなどに起因する不具合。

MASter of PROduction
生産の覇者

2K56-485

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

本社 〒470-0194（本社専用番号）愛知県日進市浅田町上納80
技術相談
ナビダイヤル 0570-091119
固定電話からは全国一律料金でご利用できます
IP・PHS（ナビダイヤルが利用できない）電話からは 052-805-3366
受付時間 9～12時，13～17時（土・日・祝日，当社休業日を除く）
インターネットホームページ www.maspro.co.jp
技術相談以外は，お近くの支店・営業所にお問合わせください。

営業部 支店・営業所

首都圏電材（営）(03)5469-5521
首都圏（シ）(03)3499-5632
西日本（シ）(082)230-2359
中日本（シ）(06)6632-1144
北日本（シ）(022)786-5062

福岡（支）(092)551-1711
沖縄 (098)854-2768
鹿児島 (099)812-1200
宮崎 (0985)25-3877
熊本 (096)381-7626
長崎 (095)864-6001

北九州 (093)941-4026
下関 (083)255-1130

広島（支）(082)230-2351
松江 (0852)21-5341
岡山 (086)252-5800
松山 (089)973-5656
高知 (088)882-0991
高松 (087)865-3666

大阪（支）(06)6635-2222
姫路 (079)234-6669
神戸 (078)231-6111
京都 (075)646-3800

東海（工）(052)804-6262

名古屋（支）(052)802-2233
津 (059)234-0261
岐阜 (058)275-0805
豊橋 (0532)33-1500
静岡 (054)283-2220
松本 (0263)57-4625
福井 (0776)23-8153
金沢 (076)249-5301

関東（工）(03)3499-5631
東京（支）(03)3409-5505
新潟 (025)287-3155
横浜 (045)784-1422
八王子 (042)637-1699
千葉 (043)232-5335
さいたま (048)663-8000

前橋 (027)263-3767
水戸 (029)248-3870
宇都宮 (028)636-1210

仙台（支）(022)786-5060
郡山 (024)952-0095
盛岡 (019)641-1500
秋田 (018)862-7523
青森 (017)742-4227
札幌 (011)782-0711
釧路 (0154)23-8466
旭川 (0166)25-3111

（営）：営業グループ
（シ）：システム営業グループ
（工）：工事グループ

N-15-5485-1C
MAY, 2011